

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	緑化推進課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市徐福長寿館
所在地	佐賀市金立町大字金立1197番地166
施設概要	平成7年5月22日竣工 (目的) 佐賀市徐福長寿館は、歴史と文化の薫る花とみどりの街づくりを推進し、市民の健康づくりに寄与することを目的として、金立公園内に設置している。 (主な施設等) ・徐福長寿館 ・徐福の広場 ・徐福長寿の庭 ・薬用植物園

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人佐賀県徐福会	指定期間	開始日	平成28年4月1日
	所在地	佐賀市駅南本町2番10号		終了日	平成33年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の開館及び閉館</li> <li>・入館者の受付、接客対応</li> <li>・ツアー客の呼び込み</li> <li>・入館者からの意見聴取</li> <li>・物品の販売・入場料金の徴収業務</li> </ul>
②施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備等の保守点検</li> <li>・建物内の日常清掃</li> <li>・警備</li> </ul>
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	<p>従来のプログラムに加えて、中身の充実を図り、子供からお年寄りまでを対象にした楽しめる講座を企画して、幅広い客層に来館してもらえる工夫をしている。また、来館者に対して、丁寧に説明を行うことで、口コミによる来館者の増加に繋がっている。</p> <p>プログラムについては、「親子昆虫教室」「庭木を楽しむ会」「スマホ講座」など新規講座を開設し、入館者の増加に努めた。PRについても力を入れており、金立SA(上り、下り)との共同PRイベント、古湯温泉、熊の川温泉との共同PRを実施して、入館者の増加に努めている。</p> <p>広報については、市報、月刊情報誌に加えてフェイスブックやホームページその他オリジナルチラシを制作しており、周辺施設の金立SAや市立図書館、公民館、アバンセに配布し周知・誘客を図っている。</p>

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		(平成27年度)	平成28年度		
① 入館者数	人	(4,204)	4,133		
②					
③					
④					
⑤					

**4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)**

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
1. 入館する来館者から直接意見を聞いている。	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
新規講座開設の要望があった。	講師を呼び、親子昆虫教育やスマホ講座等を実施した。

**5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)**

(単位:千円)

区分	平成28年度決算	年度決算	年度決算	年度決算	年度決算
指定管理料	10,280				
うち修繕費	532				
うち備品費					
うち光熱水費	49				
摘要(補足説明等)					

**6 使用料等の収納状況(市の収入)**

(単位:千円)

区分	平成28年度決算	年度決算	年度決算	年度決算	年度決算
使用料					
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	0				
摘要(補足説明等)					

**7 指定管理者の自己評価**

昨年度の入館者数は4133名で前年度に比べて71名減少しました。主な要因としては、10月の「秋の徐福大感謝祭」が荒天のため中止になったことから盛り上がり欠け、10月の来館者数が前年度1017名に対して400名減少しました。しかし、年後半個別のお客様への丁寧な説明等を行ったことにより、口コミで団体や個人客が前年に比較して増加し、年間の減少幅を小幅にとどめることが出来ました。また、各種講座に関しては、お客様の意見を反映し、「スマホ講座」「折り紙講座」を新規で開設し好評でした。薬草園や周辺の花壇の整備にも力を入れ、薬草園には会員の協力で「カンアオイ」の寄贈により「カンアオイ」コーナーを作り、長寿館左側正面の花壇にジャーマンアイリス、マリーゴールド、サクラソウなど地元のボランティアの協力を得て植え、整備しました。

**8 市による指定管理者の評価**

入館者の意見やニーズを取り入れた新講座を行うことで、新規入館者の誘客に努めている。また、来館者に対しては丁寧な対応や説明をすることに努められている。多くの来館者を見込むことができるイベントが中止になった中で、昨年度とほぼ同数とすることができたことは、指定管理者の努力によるところだと考えられる。海外の来館者については、依然中国人団体客の入館者数が減少しているが、各旅行業者への働きかけの強化や、SNS等を活用した効果的な情報発信を行い、更なる入館者の増加に努めていきたい。